

事業計画について

1 当面の課題と運営方針

- 2020年度以来、我が国の社会経済活動に未曾有の事態を惹起した新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に減少に転じたものの、新たに変異株の検出・感染拡大等により、宿泊・飲食業等の経済回復や、東京五輪・パラリンピックの開催に悪影響を及ぼすことが懸念されています。
- 当法人・施設を取り巻く環境は、新型コロナウイルスが収束する気配を見せない中で、ワクチン接種の効果が期待される一方、高齢者・乳幼児を対象とする施設の性格上、施設内クラスターの発生を未然に防止することが緊要とされています。
- 政府は、「一億総活躍社会の実現」に向けて、子育て・介護の環境整備を促進するうえから、保育士等の処遇改善施策を講じているものの、全国的に深刻化している「人材不足」が波及し、保育士・介護職員の確保が喫緊の課題となっています。
- このような課題を全職員が共有し、「健全経営」を確保するよう、創意工夫をかさねて不断の「自助努力」に努め、「地域に根ざした信頼される施設づくり」を「持続的」に進めていかなければなりません。そのために、「第3期中長期計画」に則り、各般の事業目標を着実に実現するよう、全役職員が最善の努力を傾注します。

2 重要事項

- (1) 地域に根ざした信頼される施設づくりを進め、利用者定員等の確保を図るため、ご家族をはじめ、市町村、地域福祉関係者との綿密な連携のもとに利用者本位の施設運営を推進します。
- (2) 各施設の利用者、ご家族、職員等の健康・命の安全・安心を期するため、引き続き「3密の回避」「手洗・手指消毒の励行」「マスク着用」等の徹底に努めるとともに、諸行事・会議等におけるソーシャルディスタンスの確保のうえから、オンライン形式等の取り組みを強化します。
- (3) 職員のモチベーションを高め、職員資質の向上を図るため、職場研修実施要領に基づき、計画的にOJT、OFF-JT、SDS研修、キャリアアップ研修等を実施します。
- (4) 保育園における園児の健やかな成長を図るため、保護者との連携を密にして「保育の全体計画」に定める保育目標等が効果的に実践できるよう、保育士等の職務能力の向上を期するとともに、園開放等による交流の場の提供や、伝統行事・食事などを継承する活動等を展開し、地域の「子育て拠点」としての取り組みを進めます。
- (5) 牧の林すずの音保育園が受審した社会福祉法人岩手県社会福祉協議会による「福祉サービス第三者評価」の内容を検証して所要の改善を図るとともに、「第三者評価」の手法を他の保育園の業務の自己評価に取り入れ、よりよい保育の実現に努めます。
- (6) 活力ある職場づくりを推進するため、各拠点の身近な課題の解決に向けて、職員自らが潜在能力を発揮し、更なる能力の向上に主体的に取り組む「QC活動」を実施します。
- (7) 児童福祉施設に勤務する職員が連携して保育内容等の改善・向上を図るため、各保育園等の職員が参加する「多職種職員合同研修」を実施します。
- (8) 地域に開かれた施設運営を促進するため、福祉関係養成校、医科大学等からの研修・実習生を受け入れて支援するとともに、地域催事への職員、園児等の参加・協力など、地域貢献活動を進めます。
- (9) おでんせ本宮地域交流センターの建設用地を取得するとともに、当該増改築工事に着手(実施設計)します。
- (10) 社会福祉法人土淵朗親会「創立20年の歩み」を編集します。
- (11) 施設の建物、付帯設備等の建設改良、維持修繕等については、「中長期施設整備計画」に基づき、おでんせ本宮、ケアハウスおでんせ、牧の林すずの音保育園、北川保育園、前潟保育園及び徳田保育園の施設の経年劣化等に伴う維持修繕・改修工事等を実施します。
- (12) 長期的に安定した経営を確保するため、不要・不急の経費節減に努め、後年度における人件費の増大、建設改良等に備え、各種積立資産の積立てを行います。